

奥多摩福音の家を覚えてお祈りくださる皆様へ

2020年7月30日
奥多摩福音の家 運営委員会
ディレクター：牧野広隆

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大下の現状について[第3信]

全てを御手に収め、歴史を支配しておられる主の御名を賛美致します。

東京都では感染者数が再度増加し、新型コロナウイルス(COVID-19)感染防止に様々な対応が求められています。劇場や夜の町クラスターが発生し危機感を覚える一方で、マスク装着などの感染対策意識にバラツキが生じつつある難しさも感じています。各教会も感染防止の配慮の中で、集まって礼拝することを再開しつつ、オンラインでの礼拝も続けるなど、コロナ禍での信仰生活を過ごしておられることと思います。この様な中でも福音宣教が前進することを祈っています。

6月分の献金は28教会、2団体、50名の方から2,998,028円捧げられました。7月も26日時点で230万円を越え、多くの教会と信徒の皆さんが継続して奥多摩福音の家を祈り支えて下さることを感謝しています。雇用調整助成金は申請済の4月20日分まで支給され、6月20日分まで追加申請をしました。

黒パン&クッキー宅配がスタートにより休業は6月20日で終了しました。ただ感染対策、特にクラスターリスクに気を配りつつの以前のような営業は困難です。このため収入に限界があり、みなさまの献金に支えられつつも2021年2月まで存続は確実としか言えない厳しい状況です。新型コロナウイルス治療薬、ワクチンなどが早期に開発され、コロナ以前の社会生活に戻る日が来ることを祈ります。

「いまできること」**第一弾**の黒パン&クッキー通信販売は多くのご注文戴いています。8月は限定営業のためパン作りを休止し、9月中旬から納品再開となりますがご利用下されば幸いです。**第二弾**の内田和彦先生の奥多摩セミナーDVD&Blu-rayもご注文を多く戴きました。素晴らしい学びの機会です。是非ご利用下さい。**第三弾**オンラインキャンプ「あつまれ！ふくいんの家」（小学生〔講師：國分広士師 中野島キリスト教会牧師〕、中高生〔講師：東海林隆之師 鷺沼キリスト福音教会牧師〕）詰めの作業段階です。初の試みで不安要素もありますが、子どもたち、中高生たちの信仰育成に用いられることを祈りつつ備えています。詳細はwebでご覧下さい。

【祈禱課題】

1. 新型コロナウイルス(COVID-19)の早期収束。
2. 常勤スタッフ(永山 治、伊藤 禎市、林 久美子、大通 堅)と家族、運営委員、宗教法人責任役員のため。
3. 「新しい生活様式」での夏期限定営業のため。利用者が与えられる様に。
4. 「いまできること」第三弾オンラインキャンプ「あつまれ！ふくいんの家」準備のため。メッセージ、ゲームなどの収録を進めています。
5. 人件費や維持管理費等で約200万円/月の支出があります。経済の必要が満たされるように。

主に示されて献金をお献げ戴ける場合、下記口座にお願い致します。振込手数料につきましては状況をご賢察いただき、ご負担戴きますようお願い致します。

ゆうちょ銀行から 名 義：奥多摩福音の家 記号番号：00170-5-92451

他の金融機関から ゆうちょ銀行 当座預金 ○一九店（ゼロイチキユウ店）口座番号：0092451
名 義：奥多摩福音の家

ご質問やご提案などはwebフォーム、メール info@ofi.camp、Fax 0428-85-2370でお願い致します。皆様の上に神様の祝福がありますように。祈りつつ。

在 主

